

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 TEL06-6833-9227  
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田 茂夫 TEL072-850-5781  
<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

平成17年<sup>5</sup>4月 (2005年) No.473

## パソコン持込んでの作品研究会 「現録、効果音の編集処理」の収穫

4月作品研究会は、例会日の第4土曜日の午後、難波市民学習センターで行われましたが、今回は関世話役による「現録、効果音の編集処理」がテーマでした。かなり前から準備に取りかかっていた関講師は、当日、タクシーに自宅からパソコン一式を会場に持込み、会のプロジェクターで大映写しながらの、初歩からの講義がありました。ソフトは会員さんが一番多く使っていると思われるカノープスのストームRTが使われました。

画面の切り替わりごとに現場音もプツプツ変わるのは不自然なため、これを自然体に見せるテクニックや、効果音も速度変換を使って画面のテンポに音のテンポを合わせる技術、また、ナレーションでこもりがちな音を高音を効かせてははっきりさせるワザ等、具体的な手法の説明がありました。

今回はBGMの選曲については前回取り上げ済みのため、ふれられなかったが、できるだけ多くの曲を聴いて感性をみがくことが必要とのことでした。BGM、現録、効果音、これらをうまく使って映像作品の映像表現を助ける、というのは、大きな課題であり大切なことです。幸い、パソコンが普及し、パソコン操作でいろいろ加工できるような世の中になってきましたので、これらに慣れ、使いこなすことが肝要かと思えます。

今回は24名の熱心な参加者を集めた有意義な研究会でした。講師の関世話役に感謝申し上げます。拍手！

■次回6月作品研究会：秋のフェスティバル応募予定作品を優先的に受け、皆さんの助言、指摘を受けながら更により作品をつくりあげて頂く研究会にしたいと思います。未完成でも構いません。

### 5月例会のお知らせ

5月例会は28日(第4土曜日)18時より難波市民学習センターにて開催します。気候も良くどうか多数の皆様のご来場をお待ちします。特に6月18日、19日両日の橋本撮影会参加申込みの方はいろいろとご連絡もあると思いますので必ずご出席ください。作品の方もどうぞ。

■撮影会参加予定者は参加費納入をどうぞ  
15,000 円を会計に納めてください。

## 和歌山をテーマの作品

### コンクール開催

第35回「和歌山県アマチュア映像コンクール」は本年7月末日〆切で開催されます。テーマは和歌山県に関係したもので、15分以内のものなら自由です。審査委員長は日本アマチュア映像作家連盟事務局長川上勝晤氏があたられます。賞金は出ませんが、知事賞、県議会議長賞、教育委員会賞、観光振興課賞などが予定されています。

くわしくは岡本至弘氏 (06-6788-2796) におたずねください。必ずしも新作とばかりは限りません。和歌山県内に題材を求めた作品がありましたら、どしどし応募なされては如何ですか。

## ■JR尼崎脱線事故に思う 合原会長

JR尼崎の事故で107名の多くの方が亡くなられ、4百数十名の方が負傷されたというショッキングなニュースでした。私達も毎日のように交通機関にお世話になっていますが、いつどうなるか人の運命は判らないものです。しかし乗り物に乗るのが怖いと言っていたら何もできません。これからは電車には中央付近に乗り、座るか吊り革をしっかり持つとか、カメラ等の機材は足元に置く、高速バスではベルトを締めるのを忘れない等、それなりに注意しつつ、乗り物を利用する外ありません。合掌

## 4月研究会のレポート

偶数月に開催される作品研究会4月は、関世話役による「現録、効果音の編集・処理」がテーマで配られたカラーテキスト片手に24名が熱心に受講されました。今回は講師ご愛用のPCをわざわざ持込んでの熱の入った講習でした。関作品の音作りの真髄を会得しようと出席会員は真剣に耳を傾けていました。今後の作品作りに大いに活かしてください。

## ■インターネット・ビデオコンテストの件

続いて前田氏からインターネットを使った、ビデオサロン主催、NTT西日本共催による初のビデオコンテストの応募方法の説明がありました。日本は世界でダントツ

のFTTH先進国ですから、このような新しい試みが行われるのではないのでしょうか。この試みが成功すれば、インターネット応募方式のコンテストが各地で広まること予想されます。しかも初めて大阪を拠点に開催されることに大きな意義があります。大阪在住の私たちも、このコンテストを盛り上げようではありませんか。成功か否かの判断は応募作品の内容もさることながら、応募数の多寡が一番のバロメータになりますから、私達も沢山応募しましょうという説明でした。

## 4月例会のレポート

研究会に引き続いて開催。司会は安居氏、書記は前田広報担当、映写係は江村氏、増池氏、受付兼照明係は森口氏、渡辺氏の担当で会を進行しました。

◆出席者：有村、岩井、江村、岡本、奥、上総、紙本、河合、合原、進藤、関、西村、玉井、鉄具、華岡、前田、増池、松本、森、森下、森口、森田、安居、山田、山本、吉岡、渡辺の27氏に見学者1名の合計28氏。  
◆上映作品（今月の講評は前田広報担当です）

### 1. 三井寺周辺

増池 茂さん 分15秒

近江八景の一つ「三井寺の晩鐘」で有名な三井寺の周辺の風景を紹介しています。桜が満開の時で快晴の日に撮っておられるので映像は綺麗で安心して観賞できます。動かない被写体なので、もっとズームやパンニングを使って映像に変化を持たせたら如何でしょうか。作品的にはカットとカットとの繋がりに気配って欲しい、鐘のカットのところはBGMの音量を下げる必要があるなどと、司会者からアドバイスがありました。作者からはリニア編集なので解っているが、そのようには出来ないとのことでした。

### 2. 大阪城の桃花

奥 宏さん 4分30秒

タイトルの下に平成17年卯月と出ましたから何か意図があるのかなと思って見ていました。卯月は卯の花（ウツギの花）が咲く季節なので「卯の花月」の略とする説

が有力とネットに書いてありました。見終わっても卵の花が出たわけでもないので普通に4月と書かれたほうがいいと思います。作品的には満開の桃の花を愛でる人々や、カメラマンを織り込んでスケッチ風に仕上げています。BGMは子供っぽいので他の曲に変えたほうがいいでしょう。

### 3. 伯耆古代の丘

紙本 勝さん 8分35秒

鳥取県の北西部に広がる丘陵地帯にある伯耆古代の丘という遺跡を訪れてた紀行作品です。レンゲ畑の広がるTOPシーンは秀逸でした。古墳群の紹介から始まって、7世紀中頃の上淀廃寺へ続き、<sup>ひきぼんだ</sup>2000～1700前の弥生時代後期の妻木晩田遺跡へと展開します。遺跡巡りのような歴史的遺物は被写体が地味なので、退屈するものですが、この作品は最後まで退屈させることなく見せてくれました。紙本さんの構成力の良さとナレーションのうまさだと思えます。単なる遺跡の紹介ではなく、そこを訪問した作者の印象を語り立派な紀行作品に仕上がっています。地味な映像ですが素晴らしい出来栄でした。

### 4. カミ鎮もれる山

河合源七郎さん 5分40秒

厳寒の八甲田山に立ち並ぶ異様な姿の樹氷に、人々はカミ(神)の姿を見たのでしょうか。遠い昔のイザナミ、イザナギの二神、天照大神よりずっと遠い昔の人々はカミとって畏敬の念を抱いていたそうです。そのカミは深い山々に鎮まりおわし、人々に災いをもたらすと信じられていたそうです。このような山々は祖先崇拝の対象ともなった。よって山々を崇め荒ぶるカミガミを鎮めんものと祈ったのであった。と、というようなナレーションが最初に語られますが、この部分はモノクロ表現でなかなか効果的でした。それが終わると、一転カラー映像に戻りBGMも鎮魂歌に変わります。この変化は面白いと思ったが、人影が映るカットが二つあったのでこれはカットすべきです。作品は暫くの間、樹氷の映像を見せてそのまま終わってしまった。TOPのモノクロシーンとナレが良かったので、ラストはもう一度モノクロに戻り、ナレ

ションで自分の印象、カミへの思いを語ったらもっと神秘的で印象的な作品になったであろうと思いました。

### 5. 北国の冬

吉岡貞夫さん 10分0秒

札幌市内の雪祭りに至るまでの経過を見せてくれます。観光客や一般の市民が作る小さな雪だるまから始まって、だんだん大きく本格的な雪像作りへとストーリーは展開します。あのような大きな雪像はどうやって作るのかな、と不思議に思っていたが、その謎が解けました。さて、作品的には雪像の出来るまでを追ったものですが、本来なら完成して雪祭りがオープンし、多くの観光客が眺めるシーンで終わって欲しかったなと思いましたが、そこまで待てない事情もあったようです。

### 6. ネパール紀行 バンダ(ゼネスト)の日

西村光雄さん 10分0秒

2月研究会に出品された作品を再構成しましたと、持参されたもの。マオイストというゲリラ組織毛派が毎月1～2回引き起こすゼネストをバンダというそうで、この日はすべての商店が閉店し、車も通らなくなる恐ろしい日のようです。このような問題の日に焦点を当てて作品をものにする作者の行動力には唯々脱帽です。何人かのインタビューがありますが、「バンダは悪行ですが、唯一いいことは、政治が無策で何もしなかったら、民衆も怒って蜂起するということを政府に知らしめたことでしょう」という意味の現地の人コメントは強烈です。この言葉にすべてが集約されています。この言葉を引き出した作者は凄いインタビューだど、改めて感心しました。素晴らしい作品ですが、タイトルの付け方に何人かの方からアドバイスがありました。

### 7. ムル国立公園

山本正夢さん 7分50秒

いつもアジアの秘境映像を見せてくれますが、今回はボルネオ島の東マレーシアの世界遺産でもある世界一の鍾乳洞の映像です。トップシーン前に世界最大の花ラフネシアが道端に無造作に咲いていたのには驚きました。稀有な花だけにせめてもうワンカットアップで見たかったです。最大の見

せ場は、120 mの高さを誇る世界最大の鍾乳洞です。世界遺産にも指定されているそうです。これからもこのような珍しい映像を見せていただけるものと期待しています。

#### 8. 梅小路のC622 (ハイビジョン)

前田茂夫(筆者) 9分31秒

梅小路の日本最大・最速のC622の映像ですが、片道500mの引込線をノロノロと走るだけです。東海道本線を全速で走って欲しいものと、いつもここへ来る度に思います。

#### 9. ワットシャロン (HDワイド)

森田光春さん 8分10秒

森田さんのSony FX1による初のHDV作品です。お馴染みのタイ国プーケット島南西のワットシャロン寺院の映像です。きらびやかで豪華な建造物には目を見張ります。お坊さんになるための儀式のようです。また編集テクニックでカットバック手法が使われていたのが逆効果のように思いましたが、HDVは映写中はコピー出来ないのも、それを自宅で再確認しようと思っても出来ません。筆者のHDV作品も同様に書記担当者のカメラでコピー出来ないのも、講評していただく際にご迷惑をかけているな、ということを実感しました。これからHDV作品が増えてくるのは当然の流れなので、HDV出品者は必ずDVにダウンコンバートしたテープを書記担当者にお渡しする必要があると痛感しました。筆者も来月から実践します。HDVフォーマットで映写される方は、ご協力よろしくお願ひします。編集ソフトはMacの簡易編集ソフトiMovieをお使いだそうですが、精鋭度にかなり劣化が見られ、折角のFX1ハイビジョンの解像力が感じられません。やはりMacではFinalCutProを使用する他ないように感じました。

#### 10. 五色椿 (ワイド)

江村一郎さん 5分35秒

奈良白毫寺の天然記念物の「五色椿」をテーマにした映像詩です。参拝客、観光客、カメラマンの姿を適当に織り成して描いた作品です。作者の得意とする超アップの映像と手持ち映像との微妙な組み合わせはな

かなか真似できないと思います。そこが江村流といわれる所以でしょう。やはり映像に対する感性の問題であろうと、この作品を見てつくづく感じました。

#### 11. 二上山 (ワイド)

鉄具嘉夫さん 7分0秒

先月ご入会の鉄具さんの初出品作品です。万葉集の和歌という難しいテーマに挑み、二上山に関わる歴史上の人物を背景に作品に纏めています。万葉集に大変造詣がお深いようでした。これまで相当な作品制作のご経験がおありのようで、今後のご活躍が期待されます。

#### 12. 京都鴨川紀行 (ワイド)

森口吉正さん 9分15秒

作者お得意の水紀行ですが、これは名水百選ではなく、鴨川とその源流を訪ねての構成になっています。さすがに手馴れた撮影と構成、親しみやすい独特の語り口で、観客を源流へ引っ張って行ってくれます。特に欠点もなく、水のすがすがしさ醸し出した良い作品だと思います。

#### 13. 市民レガッタ (ワイド)

有村博さん 7分50秒

ワイドで撮るべき被写体なのでワイドで撮ってきました、とのことを見せていただきました。確かにワイド向きの被写体でワイドならではの良さがよく出ていました。

#### 14. サンタバーバラ ペリカンペリカン

山田信吾さん 12分0秒

何でも娘さんがカリフォルニアへ嫁がれているそうで、サンタバーバラへ行かれたときの映像です。海岸から突き出た木製大栈橋が舞台で、そこに何処からともなくペリカンがやって来るそうです。作者とそのペリカンの触れあいを記録した楽しい作品です。釣り人が魚をペリカンにやる振りをして自分のビニール袋に入れたのには笑いました。他に娘さんの愛犬と他所の犬との出合もありますが、この作品はペリカンが主役なので、ペリカンのシーンを最後に持っていくべきでしょう。ラストの車のシーンは不用です。作品的には全般にカットが長めで冗長に思います。もっと切り詰めてテンポよく見せて欲しいと思います。